

入職促進組に向け	<p>③ 他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築（採用の実績でも可）</p> <p>④ 職業体験の受け入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施</p>	<p>未経験者、中高年、主婦など多様なバックグラウンドの人材を積極採用。採用後は研修や教育体制を整備。</p> <p>施設見学会や介護体験会、地域イベントでのブース出展を通じて、介護職の魅力を発信。</p>
キャリアアップ支援	<p>⑤ 働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等</p> <p>⑥ 研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動</p>	<p>実務者研修、認知症ケア、サービス管理責任者研修、ケアマネージャー研修を勤務扱いまたは費用負担で支援。</p> <p>研修修了・資格取得をキャリア段位制度および人事考課に反映し、昇給・昇格に連動。</p>
推進の方な・立の働き支援	<p>⑩ 職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備</p>	<p>育児中職員の2H以内の希望時短勤務、シフト調整、非正規→正規転換の実績あり。</p>
腰の痛健を康含管む理心身	<p>⑬ 業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実</p> <p>⑮ 介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施</p>	<p>専任担当者の相談窓口を設置。</p> <p>腰痛予防研修、移乗リフトの使い方研修、管理者向け雇用改善研修を実施。</p>
生産性向上のための取組	<p>⑰ 厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築（委員会やプロジェクトチームの立ち上げ、外部の研修会の活用等）を行っている</p> <p>⑯ 現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している</p> <p>⑰ 5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている</p> <p>⑱ 業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている</p>	<p>業務改善委員会の設置。</p> <p>業務フロー分析、時間調査、優先課題の整理。</p> <p>5Sチェックリストを運用し、定期的な整理整頓を実施。</p> <p>マニュアル整備、記録フォーマットの統一を行い、作業負担を軽減。</p>
やりがいのいき・成働き	<p>⑲ ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善</p> <p>⑳ 地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施</p>	<p>月1回以上のチームミーティングで改善提案を共有。</p> <p>地域イベントへの参加、交流会の開催。</p>